

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24015：観測・予測研究領域)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	7件
改善・見直しをした上で推進すべき	2件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	9件

【主なご意見】

震観測網は世界一の高密度を誇っており、緊急地震速報の入力データとしての役割が大きい。一方、火山観測は噴火予測の実績が数多くあるが、その大半を国立大学が負ってきたため法人化以降の疲弊が激しい。そこで、防災科研ではなく、直接大学の火山観測に資金と人員をつける必要がある。

地震、火山噴火、大気災害について、他省庁も積極的に取り組んでいて実績のある研究課題があるものと、他省庁では実績や研究推進能力が不足している課題もある。国の予算が厳しい中で、文部科学省が主導して取り組むべき課題と、他省庁を支援するテーマをある程度区分して、効率的な研究推進と予算配分が必要である。